

産官学で構築する
「共育共創」学びのフィールド

林業・木材・木造建築
教育・研究ゾーン



長持ちする構造物の開発



降雨による斜面の崩壊



壊れにくい河川堤防

岡山大学工学部工学科環境・社会基盤系



入学者選抜実施方法

【一般選拔(前期日程)】

個別学力検査等	
数	数I・数II・数III・数A・数B
理	物 / 化、生 から1
外	英

■ 高等学校教諭一種免許状(工業)

※土木教育プログラムに進んだ学生も、建築プログラムの科目を履修することで、一級建築士受験資格を得ることができます。

■ 一級建築士の免許登録に必要な実務経験要件となる
インターンシップを実施します。

未定:3.0%

発注者:30.3%

メーカー:3.0%

- ・神鋼環境ソリューション:1人

コンサルタント:45.5%

- ・日本エヌ:2人
- ・ニューエック:2人
- ・復健調査設計:2人
- ・ウエスコ:2人
- ・wing:1人
- ・エイ・日本技術開発:1人
- ・中電技環境コンサル:1人
- ・西電環境コンサル:1人
- ・中央環境コンサル:1人
- ・JR東日本コンサル:1人

国・地方:

- ・JRTT:1人
- ・日本鉄道:1人
- ・NEXCO日本:1人
- ・四国電力:2人
- ・NTT西日本:1人

都道府県:

- ・岡山県:1人
- ・広島県:1人
- ・兵庫県:1人
- ・岐阜県:1人
- ・政令市:0.3人/年
- ・岡山市:1人

ゼネコ:18.2%

- ・大林組:2人
- ・大林三三堂:1人
- ・大洋建設:1人
- ・東建建設:1人

博士前期課程修了生の進路
(過去3年間の平均:令和1年度～令和3年度)

性別: 28.9%

- 岡山大学 : 12.8人/年
- 他大学 : 1.6人/年
- ・大宮大学 : 2人
- ・神戸大学 : 4人
- ・東京大学 : 1人
- ・航空大学校 : 1人

未定: 0.8%

その他: 0.8%

- ソフトウェア・IT : 0.8人/年
- 不動産・ディベロップ : 0.6人/年
- 農産物地産 : 0.2人/年
- その他 : 2.4人/年

メーカー: 1.2%

- ・三機工業 : 1人
- ・東本工業店 : 1人
- ・小林工業 : 1人

コンサルタント: 9.2%

- ・八千代エジニヤリヤン : 2人
- ・ジェアール興日本コンサルタンツ : 2人
- ・ジェアール六三コンサルタンツ : 2人
- ・エイ・日本技術開発 : 1人
- ・日本工業 : 1人
- ・建設研究所 : 1人
- ・オリエンタルコンサルタンツ : 1人
- ・建設総合研究所 : 1人
- ・四国建設コンサルタンツ : 1人

ゼネコ: 12.0%

- ・清水建設 : 8人
- ・大塚組 : 1人
- ・豊和建設 : 2人
- ・大成建設 : 1人
- ・大宮組 : 1人
- ・東建建設 : 5人
- ・オリエンタル白石 : 1人
- ・新工コーポレーション : 4人
- ・近江建設 : 1人

発注者: 39.8%

- 国・独立行政法人 : 5.2人/年
- 国土交通省 : 2人
- ・防衛省 : 1人
- ・会計検査院 : 1人
- ・JOMECO : 1人
- 鉄道・道路・エネルギー・通信 : 3.8人/年
- ・JR西日本 : 2人
- ・山陽電気鉄道 : 1人
- ・NEXCO西日本 : 9人
- ・東海北陸自動車道 : 2人
- ・東海電力 : 1人
- ・近江電力 : 1人
- ・NTT西日本 : 1人
- 都道府県等 : 6.8人/年
- ・岡山県 : 7人
- ・愛媛県 : 1人
- ・兵庫県 : 5人
- ・香川県 : 2人
- ・愛知県 : 1人
- ・高知県 : 1人
- ・徳島県 : 1人
- ・大分県 : 1人
- ・福岡県 : 1人
- ・佐賀県 : 1人
- ・熊本県 : 1人
- ・鹿児島県 : 1人
- ・宮崎県 : 1人
- ・沖縄県 : 1人
- ・平成14年度企画団
- ・東京都 : 1人
- ・静岡県 : 1人
- ・愛知県 : 1人
- ・岐阜県 : 1人
- ・長野県 : 1人
- ・山梨県 : 1人
- ・東京都 : 5人
- ・横浜市 : 5人

・インフォグラフィックス	1人	・広島市	1人
・きんぴん	1人	・佐九州市	1人
・エピソード	1人	・さいたま市	1人
・フジヤマ	1人	・札幌市	1人
・協和設計	1人	・中野区	0.4人/年
・大塚総合コンサルタント	1人	・倉敷市	1人
・JPEMエンジニアリング	1人	・熊本市	0.2人/年
・ニューワーク	1人	・その他前村	1人
・振興作所	1人	・大田市	1人
・ネティ設計	1人		

学部卒業生の進路

(過去5年間の平均・平成29年度～令和3年度)

学部卒業生の進路
(過去5年間の平均:平成29年度～令和3年度)

森林の新たな価値創造と
カーボンニュートラルへの
貢献を目指す

専門人材の育成 技術開発の加速 地域産業の強化 自立した地方創生 脱炭素社会への貢献

CLTを用いた木造建築の教材
隈研吾特別招聘教授監修



木質構造設計学研究室

CLTなどの最新の木質材料を用いて、地震や火災に強い高層木造建築を作るだけでなく、構造デザインと研究開発の相乗効果で美しい形や豊かな空間を木質構造で実現します。



福本晃治准教授



耐震構造設計学研究室

構造物では地震、風、交通などによる振動が問題になることがあります。耐震・耐風設計法や最新の制振・免震技術の他、振動を利用した発電技術など世界最先端の脱炭素技術にも取り組んでいます。



比江島慎二教授



アルワシャリハモド准教授



鋼構造設計学研究室

橋梁などの鋼構造インフラは主要な都市基盤です。鋼構造の基礎知識だけでなく、次世代の点検技術など鋼構造における世界最先端のスマートインフラ技術を学べます。



西山哲教授



木本和志准教授



水工学研究室

気候変動に伴う豪雨や巨大地震による津波など、社会に甚大な影響を及ぼす水災害が発生しています。水災害を防止・軽減するための社会基盤を整備し、安心して暮らせる持続可能な社会を実現します。



吉田圭介准教授



赤穂良輔准教授



地盤・地下水学研究室

豪雨などによる自然災害による被害を少なくするために、地盤および地下水を調査して事前の予知や対策を行うことが重要です。



竹下祐二教授



小松満教授



金兼洙准教授



建築設計学研究室

生活空間が拡張し、都市と地域の境界や距離が曖昧になっていく現代において、建築の在り方も拡張しています。新しい時代に呼応する建築空間とその設計手法を考察し、その土地や地域社会に融合する建築デザインの実践を行います。



川西敦史准教授



建築計画学研究室

建築空間から集合住宅、施設計画、都市空間の計画や、建築に関わる歴史・計画・法制度について、世代を超えて受け継がれる地域の文脈や文化を念頭に置きながら、国内外のフィールドワークを通じて教育研究を行います。



堀裕典准教授



朴玟貞助教



都市・交通計画学研究室

少子・高齢化社会において持続可能な都市が求められています。安心・安全で活力のある都市と交通を実現します。



橋本成仁教授



樋口輝久准教授



氏原岳人准教授



木質材料学研究室

森林は国土の約2/3をしめており、資源の少ない我が国にとって、森林資源は貴重です。森林資源は再生産可能で、持続可能な社会を実現するために利活用していくことが重要です。



中村昇教授



コンクリート構造設計学研究室

高度経済成長期に建設された多くの構造物で劣化が顕在化しています。持続可能な発展を実現する社会を構築するために、新設の構造物だけでなく、既存の社会基盤を長持ちさせる研究開発を行っています。



綾野克紀教授



藤井隆史准教授



都市・建築環境学研究室

持続可能な地球を維持しつつ、快適な都市環境を実現するために、これから構築していくべき都市や建築、さらには関連するエネルギーシステムやエネルギーリテラシーの在り方を明らかにするための研究・教育を行っています。



鳴海大典教授



水質衛生学研究室

衛生的で持続可能な都市環境を築くために、都市と環境間での物質循環に着目しながら、新しい水処理技術、水環境の保全技術など、環境を構成し生命維持に欠かせない水の質に関する研究を行っています。



永禮英明教授